

## 災害時対応中核充填所について

2026年3月11日で東日本大震災から15年が経ちました。

そこで今号では、東日本大震災を教訓に誕生した、「災害時対応中核充填所」について、ご紹介したいと思います。

災害時対応中核充填所とは、災害時でもLPガスの安定供給を目指して、国から設備導入費用の補助を受ける代わりに、一定の役割や義務を負う充填所の事を言い、災害時でも自立的に稼働できるようにする為、自家発電用設備、緊急用通信設備、LPG車両の配備が義務付けられています。

また、地域の行政とLPガス協会で締結されている防災協定への参加や、災害時に他社との充填所の共同利用、充填受入、代替配送、保安点検調査を行う役割を担っております。

全国に342箇所整備され、当社では、扇町営業所と福島営業所の充填所が、指定されています。

LPガスは災害に強いエネルギーと言われていますが、災害時対応中核充填所が全国に整備されたことにより、更に災害対応力を高めた社会インフラへとになっていく事が期待されています。



扇町本社



衛星電話



LPGディスペンサー



LPG車両



自家発電用設備

AGC東北は、地域の“安心・安全・快適”をお届けする仲間を募集しています！

